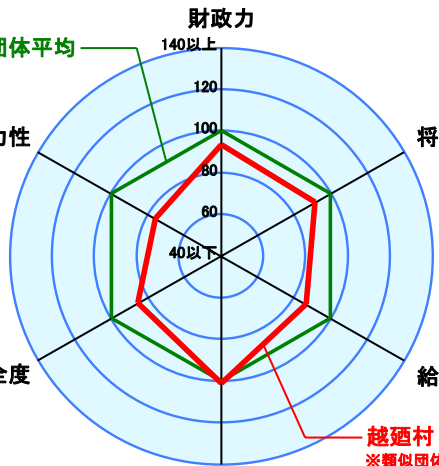


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福井県 越廼村

人口	1,753 人(H17.3.31現在)
面積	15.35 km ²
歳入総額	2,400,741 千円
歳出総額	2,297,991 千円
実質収支	102,680 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

※平成18年2月1日に、旧美山町、旧清水町とともに福井市に編入合併した。

●財政力指数

高い高齢化率に加え、中心となる産業が観光業・水産業等であるが、景気の低迷や消費者のニーズの変化などからいずれも低迷が続いている。財政基盤が弱く、財政力指数については、以前より類似団体平均を下回っている。福井市への編入合併を機に、歳入の削減等の取り組みを通じて、財政基盤の強化を図る。

●経常収支比率

普通交付税の減少、住民福祉の向上等のための新たな事業展開による施設の運営費や公債費等の経費の増高等により、経常収支を悪化させている。今後は、合併を機に質の高い行財政運営を進め、改善を図る。

●起債制限比率

大型建設事業にかかる起債償還が多く、大部分が優良な起債ではあるものの、高い比率となっている。今後、新福井市として、行政常用の的確な把握と重要政策課題の絞り込みにより、地方債の発行を極力抑制するとともに、計画的繰上償還の方法を検討していく。

●人口1人当たり地方債現在高

類似団体平均を大きく上回っている主な要因は、平成10年度以降実施した大型事業(老人福祉施設・資料館・村営住宅・温泉施設等)の実施によるものである。今後は新規発行の抑制に努める。

●ラスパイレズ指数

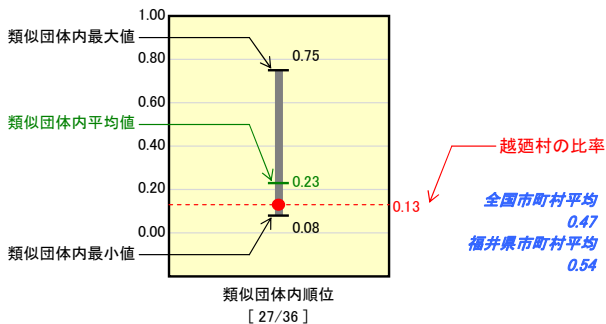
現在は類似団体を上回っているが、今後新福井市の集中改革プラン等に基づき適正な給与水準の維持に努める。

●人口1,000人当たり職員数

類似団体を若干下回っている。合併後新福井市として新規採用の抑制等、定員適正化計画に基づき適正化を図っていく。

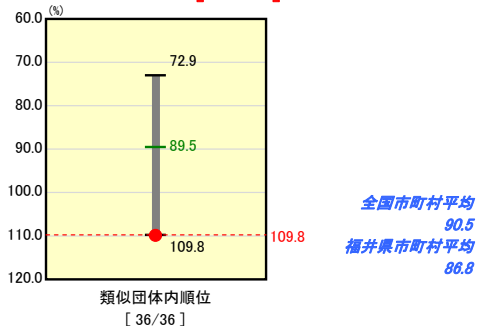
財政力

財政力指数 [0.13]



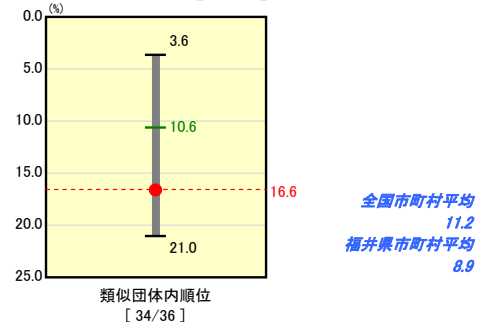
財政構造の弾力性

経常収支比率 [109.8%]



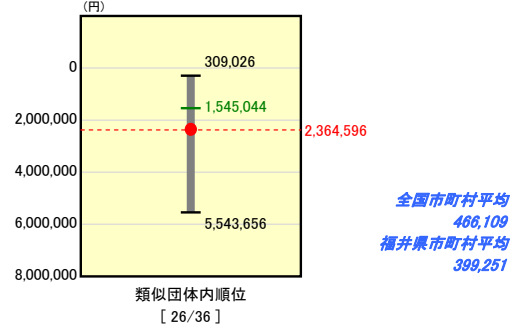
公債費負担の健全度

起債制限比率 [16.6%]



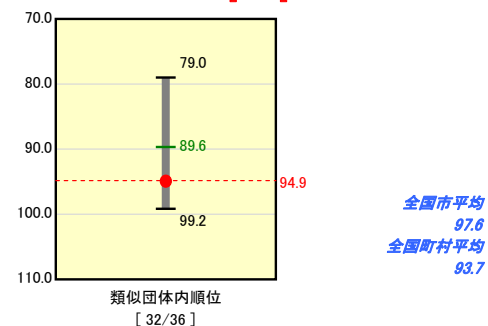
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 [2,364,596円]



給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレズ指数 [94.9]



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 [20.54人]

